

■正誤問題 (要点確認 33 問)

商業建築に関する問題です。○×で回答して下さい。×の場合は、なぜ間違っているのかも考えてみましょう。

1. セルフサービス形式のカフェテリアにおいて、配膳用と下げ膳用との動線を分離した。
2. 劇場において、舞台と客席の一体感を高めるために、オーブンステージ形式を採用した。
3. シティホテルにおいて、ツインベッドルーム 1 室当たりの床面積を 15m²とした。
4. 百貨店の売場部分の床面積の合計(売場内通路を含む)を、延べ面積の 60%とした。
5. 一般的なレストランの厨房の床面積を、レストラン全体の床面積の 30%とした。
6. 延べ面積に対する客室部分の床面積の合計の割合は、一般に、ビジネスホテルよりシティホテルのほうが大きい。
7. 物品販売店舗における売場内の通路幅については、一般に、客の流れを円滑にするために、客や店員が商品を扱う姿勢や動作の基本寸法を考慮する。
8. 百貨店の売場部分の床面積の合計(売場内通路を含む)は、延べ面積の 50~60%のことが多い。
9. 劇場における客席の通路の有効幅については、客席のいすの肘木の幅を考慮する。
10. 喫茶店の厨房の床面積は、喫茶店全体の床面積の 15~20%のことが多い。
11. 劇場のプロセニウムステージから火災が観客席に拡がるのを防ぐために、プロセニウムステージのステージ側に防火幕を設けた。
12. オペラ劇場における可視限界距離は、一般に、38m 程度である。
13. 映画館の客席部分の 1 人当たりの床面積は、通路を含めて 0.4m²が一般的である。
14. 喫茶店のカウンター内の床を、客席の床より高く計画した。
15. コンビニエンスストアの売場内は、見通しがよく、客が自由でスムーズに巡回できる計画とした。
16. 高級品や固定客を対象とする店舗の店頭形式を、開放型とした。
17. シティホテルの安全性を確保するために、常時集中監視の防災センターを設けた。

18. 劇場の計画において、客席と舞台の一体感を演出するために、スラストステージとした。
19. 百貨店の柱スパンを決定する際に、地階の駐車場の配置と効率を考慮した。
20. 事務所ビルのコアプランにおいて、2 方向避難の確保を考慮してダブルコアとした。
21. 屋内駐車場において、直角駐車にする場合、車路の有効幅を 6m とした。
22. 物品販売店舗において、ショーケースで囲まれた店員用の通路幅を 1.1m とした。
23. 一般的なレストランにおいて、厨房の床面積を、客席部分の床面積の 10% とした。
24. ビジネスホテルにおいて、シングルベッドルームの 1 室当たりの床面積を 15 m² とした。
25. 小劇場において、客席内の縦通路の幅を 85cm とした。
26. 従業員用の便所を、客用の便所と別に計画した。
27. セルフサービス形式のカフェテリアのカウンターは、配膳用と下げ膳用を 1 か所にまとめて計画した。
28. バーのカウンター内の床を、客席の床より下げて計画した。
29. クロークを、レジに近いところに計画した。
30. パントリーを、厨房に近いところに計画した。
31. 貸事務所の基準階のレンタル比は、75～80% が一般的である。
32. 劇場におけるプロセニウムステージの舞台の幅は、プロセニウムの幅の 2 倍以上は必要である。
33. レストランの厨房の床面積は、レストラン全体の床面積の 25～45% が一般的である。



■正誤問題 解答編

1. セルフサービス形式のカフェテリアにおいて、配膳用と下げ膳用との動線を分離した。
1. ○
2. 劇場において、舞台と客席の一体感を高めるために、オープンステージ形式を採用した。
2. ○
3. シティホテルにおいて、ツインベッドルーム 1 室当たりの床面積を 15m^2 とした。
3. × 15m^2 はシングルベッドルームの床面積としては適当ですが、ツインベッドルームにおいては、 $20\sim 30\text{m}^2$ は必要です。
4. 百貨店の売場部分の床面積の合計(売場内通路を含む)を、延べ面積の 60% とした。
4. ○
5. 一般的なレストランの厨房の床面積を、レストラン全体の床面積の 30% とした。
5. ○
6. 延べ面積に対する客室部分の床面積の合計の割合は、一般に、ビジネスホテルよりシティホテルのほうが大きい。
6. × シティホテルは、集会や宴会、飲食など多目的に利用されるのに対し、ビジネスホテルは、ビジネス客のための宿泊室が大部分を占めますので、室部分の割合は、ビジネスホテルの方が大きい。
7. 物品販売店舗における売場内の通路幅については、一般に、客の流れを円滑にするために、客や店員が商品を扱う姿勢や動作の基本寸法を考慮する。
7. ○
8. 百貨店の売場部分の床面積の合計(売場内通路を含む)は、延べ面積の 50~60% のものが多い。
8. ○
9. 劇場における客席の通路の有効幅については、客席のいすの肘木の幅を考慮する。
9. ○
10. 喫茶店の厨房の床面積は、喫茶店全体の床面積の 15~20% のものが多い。
10. ○
11. 劇場のプロセニウムステージから火災が観客席に拡がるのを防ぐために、プロセニウムステージのステージ側に防火幕を設けた。
11. ○

12. オペラ劇場における可視限界距離は、一般に、38m 程度である。

12. ○

13. 映画館の客席部分の 1 人当たりの床面積は、通路を含めて 0.4m^2 が一般的である。

13. × 0.4m^2 は、客席の座席 1 席分の床面積です。通路を含めると約 $0.6\sim 0.7\text{m}^2$ が一般的です。

14. 喫茶店のカウンター内の床を、客席の床より高く計画した。

14. × 座った客との視線の高さを考慮すると、同じレベルまたは一段下げて計画するのが適当です。

15. コンビニエンスストアの売場内は、見通しがよく、客が自由でスムーズに巡回できる計画とした。

15. ○

16. 高級品や固定客を対象とする店舗の店頭形式を、開放型とした。

16. × 通りがかりの人が入りやすい開放型は好ましくありません。

17. シティホテルの安全性を確保するために、常時集中監視の防災センターを設けた。

17. ○

18. 劇場の計画において、客席と舞台の一体感を演出するために、スラストステージとした。

18. ○

19. 百貨店の柱スパンを決定する際に、地階の駐車場の配置と効率を考慮した。

19. ○

20. 事務所ビルのコアプランにおいて、2 方向避難の確保を考慮してダブルコアとした。

20. ○

21. 屋内駐車場において、直角駐車にする場合、車路の有効幅を 6m とした。

21. ○

22. 物品販売店舗において、ショーケースで囲まれた店員用の通路幅を 1.1m とした。

22. ○

23. 一般的なレストランにおいて、厨房の床面積を、客席部分の床面積の 10% とした。

23. × 30% くらいが適当です。10% では少な過ぎです。

24. ビジネスホテルにおいて、シングルベッドルームの 1 室当たりの床面積を 15m^2 とした。

24. ○

25. 小劇場において、客席内の縦通路の幅を 85cm とした。

25. ○

26. 従業員用の便所を、客用の便所と別に計画した。

26. ○

27. セルフサービス形式のカフェテリアのカウンターは、配膳用と下げ膳用を 1 か所にまとめて計画した。

27. × 作業動線や衛生上の面を考えると、1か所にまとめる事は好ましくありません。

28. バーのカウンター内の床を、客席の床より下げて計画した。

28. ○

29. クロークを、レジに近いところに計画した。

29. ○

30. パントリーを、厨房に近いところに計画した。

30. ○

31. 貸事務所の基準階のレントラブル比は、75～80%が一般的である。

31. ○

32. 劇場におけるプロセニアムステージの舞台の幅は、プロセニアムの幅の 2 倍以上は必要である。

32. ○

33. レストランの厨房の床面積は、レストラン全体の床面積の 25～45%が一般的である。

33. ○

